

# 京文山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2600回★ 森本清一氏 2700回登頂記念 比叡山 848m	6月5日（土） AM 9:00 修学院 赤山禅院前集合	清水 康裕	赤山禅院前…比叡山山頂…根本中堂…坂本（そば）
備考 • 山頂でセレモニーを行います。 • 参加希望者は担当者へ連絡してください。			
第2601回★ 岳連 平成22年度 一斎清掃登山 西山・苔寺～ 松尾山～嵐山	6月6日（日） AM 9:00 苔寺バス停集合	岡田 茂久 方山 宗子	苔寺バス停…松尾山…嵐山
備考 • 参加希望者は担当者へ連絡してください。			
第2602回★ 大峰 鉄山 1,563m 洞川 観音峰 1,347m	7月10日（土） ～11日（日） 10日 AM 7:00 竹田駅西口集合	井戸 澄夫	15日 第2京阪一下市（食料購入）－大河口登山口…鉄山往復（テント泊まり） 16日 洞川…観音峰往復…洞川温泉入浴－帰路
備考 • 鉄山は尾根道を登ります。 • 装備 テント1泊の装備。 • 帰路は洞川温泉で汗を流します。 • 参加希望者は担当者へ連絡してください。			

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2603回★★ 北アルプス 「奥大日岳から 大日岳」	7月29日（木） ～8月1日（日） 29日AM 7:00 竹田駅西口集合	吉田 武	
29日 竹田駅西口－京都南 IC－立山 IC－千寿ヶ原駐車場⇒美女平～室堂…みくりが池「歩行30分」みくりが池温泉 泊まり			
30日 みくりが池温泉1.5h…稜線2.0h…奥大日岳2.0h…大日小屋…大日岳往復1.0h… 大日小屋「歩行5h」大日小屋 泊まり			
31日 大日小屋2.0h…大日平山荘1.0h…牛ノ首1.5h…展望台1h…称名滝バス停⇒ 千寿ヶ原駐車場			
1日 予備日			
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿 みくりが池温泉 富山県中新川郡立山室堂 TEL 076-465-4596</li> <li>      大日小屋 富山県富山市下堀40-01 杉田健司 TEL 090-3291-1579</li> <li>・費用 50,000円</li> <li>・日帰り登山装備、嗜好品、軽アイゼン</li> <li>・温泉と山小屋に泊まる予約が必要なので、参加希望者は必ず担当者へ申し込み締め切り 7月8日（木）集会までに連絡してください。</li> </ul>		
今月の集会	<b>企画運営委員会</b> 日 時 6月11日（金）18:30～ 場 所 holly's café（ホリーズ カフェ）		
	日 時 6月21日（月）18:30～ 場 所 holly's café（ホリーズ カフェ）		



最近の気候は、暑くなったり涼しくなったりで温度の変化が激しく、体調の維持が大変である。また。雨も多いような気がする。

奈良では遷都1300年のイベントが今年一年間催される。海外では上海万博が10月末まで行われる。このような楽しみの対極に、タイの治安の悪化や、ギリシャ財政不安による通貨や株価の不安定などが起こっている。気候のみならず、社会情勢も激しい変化である。

日本も財政の健全化が急がれる状況であるが、政治が不安定でなかなかその方向性が示されない状況である。読売新聞の連載記事「日本の針路」で作家の幸田真音（こうだまいん）氏は、「国債は打ち出の小づちではない。」とされ、国債の価値が暴落し、長期金利が急騰すれば大変なことになると警鐘されている。また、慶應大学教授で元鳥取県知事の片山善博（かたやまよしひろ）氏は「財政破綻に対しては国だけではなく、地方自治体の意識改革が必要である。」とされ、借金依存体质からの脱却、誰のための公共事業か等を考え、「納税者が必要とするものを、高い質も保ち、最小限の費用で提供すること。」への意識の転換を知事時代に徹底された。

鳩山内閣が退陣し、菅内閣となった。選挙も大切であろうが、国民のために、将来の日本のために、痛みを伴っても、明確な針路と実行を期待するものである。

私はこの4月から新しい部署に異動となり、慣れないことと、業務量の多さで疲れが出ている状況である。私の部署の別の担当は、京北地域への交通を改善するための「栗尾バイパス」のトンネル工事を進めている。完成すれば、京北地域の山々やトレイルコースがより身近になると期待している。

京交山岳部の健脚でおられる森本氏の比叡山記念登山が6月5日に行われた。私は体調不良で残念ながら参加できなかった。まだまだ現役でお元気に山行されているそのお姿は、すごいの一言しかありません。

いろいろな変化があり、大変な時代となっているが、山行で汗をかき、リフレッシュしていければ、大先輩のように元気に過ごせるものと感じるものである。

(2010. 6. 6 T. H 記)

【第2599回例会報告】

## 敦賀 岩籠（いわごもり）山（三等△765.4m）

井 戸 澄 夫

岩籠山は敦賀を代表する山で、野坂岳・西方ガ岳とともに敦賀三山と名づけられる。天候不順な今年の春であるが、久方ぶりの穏やかな春らしい日となって、快適な山行ができた。

集合はいつも通り竹田駅西口。敦賀 ICを下りて、国道8号を滋賀方向に少し戻り、市橋の交差点から登山口への林道に入る。林道に入る前に近くのコンビニで食料を調達した。林道を少し行くと20台ほどの駐車場があり、仮設トイレが設置されている。土曜日で晴天ということで、先着の車が10台程駐車している。さらに林道を歩いていくと登山口がある。登山道は沢沿いにある。谷は広くて明るい。清流の音を聞きながら谷を詰めていくが、途中何度か徒渉する（10回くらい）。雨が降った後は足元が濡れるのを覚悟する必要があるが、危険というほどではないだろう。水が切れ、急登のジグザグ道を登れば尾根に着く。夕暮山（726m）分岐である。岩籠山へは尾根道を東にとり30分ほどである。山頂は広く眺望はよい。野坂岳がよく見える。山頂を渡る風は冷たい。昼食を取った後、インディアン平原にまわる。ササ原の高原に花崗岩の岩塊がいくつも頭を出して、モヒカン刈りを思わせるような姿であり、インディアン平原とはうまい表現である。ここからは敦賀の町と港と海がよく見渡せる。岩陰に身を寄せれば風も弱く、昼寝に最適である。小憩後、岩籠山頂を迂回して夕暮山分岐に戻り、登って来た谷を下った。明るい谷と眺望のよい頂上で、ハイキングには最適な山である。

帰路、マキノ高原温泉「さらさ」に入浴し、湖西回りで帰洛した。例によって長等トンネル手前で渋滞に遭遇し、裏道を通って国道1号に出た。今後の参考にしよう。

【参加者】森本清一、渡辺智生F1、山元誠一、井戸澄夫F1（6名）

【コースタイム】2010年5月22日（土）

8：00 竹田駅西口→（名神、北陸道）→9：30 敦賀 IC→10：00 登山口（駐車場）  
…12：10 夕暮山分岐 12：20…12：40 岩籠山頂（昼食）13：15…13：30 インディ  
アン平原 13：50…15：30 登山口→16：00 マキノ温泉 17：00→19：50 山科駅前  
(解散)

# 例会報告

例会No.	目的 地	月 日	天候	担当者	参加者	記 事
2599	敦賀 岩籠山	5月22日	晴	井戸 澄夫	森本 清一 山元 誠一 渡辺智生F1 井戸澄夫F1	(別稿詳報)

## 雑 報

### △△△ 5月の集会

日 時 5月10日（月）18：30～  
場 所 holly's café（ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル）  
出席者 井戸、大槻、岡田、方山、坂井、三橋、森本、吉田、清水 以上9名  
内 容 例会報告、例会予告、個人山行、岳連関係報告ほか

### △△△ 4月の企画運営委員会

日 時 4月19日（月）18：30～  
場 所 holly's café（ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル）  
出席者 井戸、三橋、吉田、清水  
内 容 例会予定、岳連関係報告ほか

### △△△ 他山岳会の会報（受贈分）

6月号 一等三角点、北山、京都山岳、趣味の登山、青嶺、比良山岳、木雞、わっぱ  
6・7月号 山友

### △△△ 部報発送担当からのお知らせ

職場の異動に伴い、部報の発送先、発送方法に変更がある場合は、必ず部報発送担当者  
(松田：高速車両課 )まで連絡してください。

△△△ 自然保護講演会のお知らせ（主催 京都府山岳連盟 自然保護委員会）

なぜ地球が温暖化してきたか「そのしくみ」を学び、自然界における野生生物の現状を観察し、登山者として自然保護にどのように対応・対処すればよいのかを、ご一緒に考えましょう。

日 時 6月12日（土）14：00～16：30

会 場 京都アスニー（京都市生涯学習総合センター）5階 第7研修室内

京都市中京区丸太町通七本松西入

[京都駅から]

地下鉄丸太町駅下車後

市バス93号、202号、204号系統乗車 停留所「丸太町七本松」下車

[二条駅、三条京阪駅から]

市バス15号系統乗車 停留所「丸太町七本松」下車

講演内容 【講演1】『地球温暖化とは』 山中 博氏

日本気象学会会員 自然保護指導員

【講演2】『森林におけるシカ害について』 上村 邦雄氏

環境庁近畿地方環境事務所 野生生物課長

対象者 京都府山岳連盟加盟会員及び一般府民の方々

参加費 500円（資料代 当日いただきます）但し、中高生は無料

申し込み 6月9日（水）までに清水 へ連絡してください。

まとめて京都府山岳連盟事務局宛に申し込みます。

## 訃 報

名誉部員 中村維源氏（享年97歳）におかれましては、5月25日に眠るようにご逝去されました。

告別式において「父は京交山岳部員で、皆様にお世話になり、一緒に山で自然とふれあいながら登らせていただき、本当に良い人生を送ることができました。」と喪主の息子さんがご挨拶されました。

衷心よりご冥福をお祈り申しあげます。